

GAPで高める産地の力 ～食の安全・安心をめぐって



GAP導入をめぐり意見交換する渡辺氏、大野氏、井川氏（左から）

生産者にとって、安全・安心な農畜産物を出荷している「お墨付き」となるGAP（農業生産工程管理）認証。政府は国内産品の輸出増につながるとして、認証取得を後押しする。十勝管内でも一部で取得の動きがある半面、手間とコストがかかるのも事実だ。食の安全性に対する消費者の意識が高まる中、GAPとどう向き合うべきか。学識者と生産者、JA担当者の3人に議論してもらった。

【出席者】

- | | |
|-----------------------|---------|
| ・帯広畜産大学特任教授 | 渡辺 信吾 氏 |
| ・農業法人大野ファーム
（芽室）代表 | 大野 泰裕 氏 |
| ・JA中札内村農産部長 | 井川 晃博 氏 |

【司会】

- | | |
|-------------|-------|
| 十勝毎日新聞社編集局長 | 末次 一郎 |
|-------------|-------|